●VOL.43号　2015年1月1日 発行

八潮市長 大山しのぶ ニューズレター 風

■大山しのぶ事務所
埼玉県八潮市八潮2-18-8
パークアヴェニューK
TEL.048-994-6000
FAX.048-994-6001
■最新情報はホームページで
http://www.s-oyama.jp/

■編集・発行／やしおマメ倶楽部　〒340-0815　八潮市八潮2-18-8　Tel.048-994-6000

2015年 飛躍の年に

地域の充実、市民生活の安定に向かって…。

新年、あけましておめでとうございます。皆様おそろいで輝かしい初春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。さて、市民の皆様のご理解とご協力を戴き、お陰さまで自らの掲げた「住みやすさナンバー1（ワン）のまち八潮」の実現に向けて、元気いっぱい働かせて戴きました。心より御礼申し上げます。（主なものは紙面下部と裏面をご覧下さい）今年はこれらをさらに発展させ、自らのリーダーシップのもと、さらに強力に推進して参りたいと思います。ここでいくつかを挙げさせていただきます。

今年は新政策も本格スタート!

まずは、アセットマネジメントに取り組みます。アセットマネジメントとは、施設や設備の老朽化による更新と維持・管理に抜本的な見直しを行うことです。防災・災害対策上も非常に重大な課題でありながらも、問題が大きく、これまで多くの地方自治体ではなかなか取り組みが進んでおりません。八潮市としては、昨年から準備を進めて参りましたが、今年からの本格スタートをいたします。

この取り組みにより、八潮市はアセットマネジメントにおける近隣自治体のトップランナーを目指します。

また、特に昨年は御嶽山の噴火、大型台風をはじめ、災害の多い年でした。

自然災害は避けられません。今年は、より効果的な防災体制の構築のために、八潮と草加の消防の広域化を目指します。市境の応援態勢の拡充とより機動的な防災力の強化を図ります。

「5次総」や新条例にも取り組む

さらに今年は「八潮市第五次総合計画」の策定と同時に、いくつかの条例も検討しています。ひとつは「（仮称）空き家条例」。少子高齢社会で、住み手のいなくなった空き家が放置されて、まちの景観や防犯上、社会的に問題となってきています。イメージとしては、地域をひとつに捉え、それぞれの地域にあった景観・防犯などの総合施策で対応し、まちの付加価値や生活環境を維持するための条例として考えています。

もうひとつは、「（仮称）いじめ防止条例」。これはマニフェストにも挙げていたもので、市・学校・保護者・市民の責務、いじめの未然防止・早期発見のための対策、いじめの重大事態に対する第三者を構成員とする調査機関などを考えています。

今年はスピード感ある市政運営を行っていきたいと考えています。市民生活は休むことはありません。それをサポートする政治・市政には、当然のことながら、停滞は許されません。より積極的に施策を推進して参ります。八潮市のため、市民の皆様のために尽くして参りますので、これからも倍旧のご支援を宜しくお願いいたします。

八潮市長 大山しのぶ

2014年をふりかえって…。 大山しのぶの活動トピックス

聖徳大学と包括協定を締結 八潮の教育に大学の教育力を

大山しのぶは、大学の教育力と知的財産を八潮市に活かすことを目指し、7月4日、八潮市と聖徳大学・聖徳大学短期大学部の間で、「聖徳大学並びに聖徳短期大学と八潮市の包括的な連携に関する協定」の締結式を行いました。

この協定は、八潮市と大学が包括的に連携を結ぶことにより、市内の児童・生徒の学力向上、教育環境の充実などを図るものです。

これにより、聖徳大学には後述の「八潮こども夢大学」の訪問大学としてご協力いただくとともに、教育実習生やボランティアの受け入れを進めています。

大山しのぶは、今後、より大きな視点で、八潮市の政策や様々なプログラムに活かすようにさらに検討を重ね、取り組みを進めて行く予定です。さらに他の大学にも同様に働きかけを進めて参ります。

聖徳大学との協定

八潮こども夢大学がスタート 小学生が5大学6学部で学ぶ。

教育の質を高めるための象徴的な事業として、昨年から八潮メセナで「八潮こども夢大学（学長・大山しのぶ市長）」をスタートさせました。これは市内の小学校6年生を対象に、実際に首都圏の大学に行き、体験授業、施設見学などを行い、知的好奇心を育むとともに将来、自らの学びに活かしてもらおうという新しい試みです。

この開校式を受けて、10月4日から12月6日まで、市内33名の児童とその保護者は聖徳大学（児童学部）、産業能率大学（経営学部）、東海大学（情報通信学部）、昭和大学（薬学部）、芝浦工業大学（工学部）、聖徳大学（看護学部）の5大学6学部でのカリキュラムに参加、12月25日に修了式を行いました。

お陰さまで参加者からは高い評価を戴き、今年のさらにカリキュラムを発展させていく予定です。

こども夢大学学生証授与

八潮こども夢大学開校式

東海大学の3Dスタジオでの体験学習

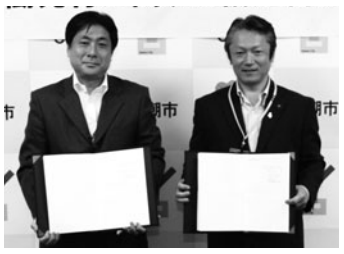
民間の力と特色を活かすため、協定締結

やしお市民生活ガイドブック協働発行、災害時老朽対策活動、災害時救援物資供給、災害時水道資材供給

安全・安心を全ての根本に置く大山しのぶは総合防災訓練の充実とともに災害対策にさまざまな方策を講じてきました。

大山しのぶは、民間の力を市の防災に活かすため、市と民間との協定を強いリーダーシップで結びました。地図会社の(株)ゼンリンと5月9日に「やしお市民生活ガイドブック協働発行」、水道水道料金徴収会社の(株)ジェネッツと5月22日「災害時老朽対策活動」、8月7日には茶葉・果汁飲料の(株)伊藤園と「災害時における救援物資の供給」。8月7日と8月12日には相次いで水道建築設備資材会社の富士機材(株)東京第2支社、建築資材の大一企業(株)と「災害時等の水道資材供給」を締結しました。

大山しのぶは今後も、災害対策に強力に取り組んでいきます。


㈱ゼンリンと。

㈱ジェネッツと。

㈱伊藤園と。

富士機材㈱と。

大一企業㈱と。

公共インフラを次世代に活かすため、アセットマネジメントがスタート!

1面でお伝えしたとおり、次世代に公共インフラを活かすため、昨年よりアセットマネジメントの導入のために様々な検討が行われてきました。

昨年から市の公共インフラの調査に着手し、順次、その結果が明らかになっていきます。本年はその検討作業を進めています。

アセットマネジメントには、多くの財源が必要となり、国からの財源や借金だけでは難しいことは明らかです。大山しのぶは、PPP(官民連携)とPFI(民間資本主導)といった発想と手法を加味して進めていくことを研究しています。

大山しのぶの強い意志のもと、本年からその作業がいよいよ本格化して参ります。

第5次八潮市総合計画を策定開始 ～住みやすさナンバー1のまちへ～

昨年の12月に広報でお知らせしたとおり、大山しのぶは、平成28年度から37年度までを計画期間とする「第5次八潮市総合計画」づくりを進めています。総合計画とは市が進むべきまちづくりの方向を見定め、取り組んでいくための指針です。

この策定にあたり「町会自治会連合会代表者会議」「計画策定市民会議」「女性提言会議」「高校生懇談会」を開催、市民アンケートや中学生作文集、小学生絵画募集を通じ、幅広く意見や提案をいただきました。今後は、大山しのぶ新市長のまちづくりへの哲学と市民の皆様の意見や提案を組み合わせ、素案の発表、審議会の審議などを経て、よりよいものにしていく作業を続けています。さらにご意見をお寄せ下さい。

女性提言会議

計画策定市民会議

八潮市振興計画審議会

市長とまちづくりを語る集いを開催 ～皆様の声を活かします!～

皆様の声を聞きたい、そして、思いを伝えたい!これが大山しのぶが一貫して重視している政治姿勢です。市長となってからもこの姿勢を大切にする大山しのぶは「市長とまちづくりを語る集い」にも熱心に取り組んでいます。

11月16日は、和耕町会で26名の方が参加し、座談会形式で、地域の課題や少子高齢社会における地域の在り方などをざっくばらんに語り合いました。11月22日には上馬場町会で22名の方が参加、市の交通安全や防犯、子ども達の遊び場づくりなどで懇談が行いました。どちらもお仕着せの答弁ではなく、大山しのぶ自らがじっくりとホンネで語る姿が好評でした。

今年も時間の取れる限り、さらに回数を増やして参りたいと思っております。

11月16日、和耕町会にて

11月22日、上馬場町会にて

八潮市南部中央地区の町名が決定

南部中央地区の町名が、大瀬一丁目～六丁目、茜町一丁目に決定! ※町名が決まったのは南部中央地区のみです。

八潮南部地区土地区画整理事業区域の町名は、平成23年度当時に検討され、答申されていましたが、その後、「町名見直しの請願」がなされ、作業は再検討されていました。平成25年より、大山しのぶ市長が、南部の町会・自治会長に直接、意見を伺い、意見交換会を行って協議しました。それを受けて町名案が決まりました。

お問い合わせ　市街地整備課　☎048-996-2111 内線404

大山忍(おおやま・しのぶ) プロフィール

●昭和32年6月5日　八潮市八潮生まれ(57歳)●八潮町立第三小学校(現・八潮市立八幡小学校)～草加市立高砂小、私立早稲田中学・早稲田高校を経て、成蹊大学工学部卒。●大学卒業後、機械メーカーでサラリーマンをし、昭和61年から国会議員秘書経験12年。●平成9年八潮に戻り、家業の農業を継ぐ。●平成12年、埼玉県議会議員に初当選。(4期連続当選)●総務県民 生活委員会委員、公社事業対策特別員会委員、八潮市体育協会会長を務める。●平成25年7月、八潮市の発展を目指す市民中心の政策グループ「新しい八潮を創る市民の会」政策委員長に就任。●八潮市の将来を考え、一身を捧げるため、平成25年7月25日、4期13年間務めた埼玉県議会議員を辞職し、不退転の決意で八潮の未来のために活動を展開。●平成25年9月8日の八潮市長選挙に立候補。1万9717票をいただき、八潮市長に初当選。

大山しのぶ事務所
埼玉県八潮市八潮2-18-8 パークアヴェニューK
TEL.048-994-6000　FAX.048-994-6001

最新情報はWEBで!
ホームページ http://www.s-oyama.jp/
公式ブログ http://ameblo.jp/oyama-shinobu/